

令和7年度組合等課題対応新事業展開支援事業 実施結果③

活用組合（概要）

組合名：協同組合ウェル国際技能協力センター

所在地：奈良市

組合員：126名

活動内容

奈良県を中心とした介護事業者で構成される組合で、外国人技能実習生共同受入事業及び特定技能外国人支援事業を主な共同事業として実施。また、人手不足に悩んでいる組合員に対して、シフト作成ツールやEラーニングによる従業員教育といった組合独自のシステムを保持し、組合員へ提供している。



中長期的課題

【組合員(介護事業者)が活用可能なシステムの提供】

- ① 組合独自システムの認知度不足
- ② 広報活動の強化
- ③ システム活用促進による組合員の増加

【解決策】

介護事業者向け展示会に出展し、組合の独自システムに触れていただき、改善点などをアンケート調査にて探ることで、今後実施するシステム改修計画に反映させるとともに、新規組合員となる事業者を発掘する。

取組結果

展示会名：「CareTEX大阪2025」

実施日時：令和7年10月15日（水）～17日（金）

実施場所：インテックス大阪

内容：組合が保有する介護自商社向け勤怠管理システム等の製品紹介、組合が提供するサービスの紹介

出展社数：約140社

【成果】

来場者数：6,641人（3日間合計）

名刺交換：87件

組合が保有する介護事業者の現場目線で作成した独自の勤怠管理システムが評価され、新規組合員「2社」の加入予定及び組合システムの販売代理店契約予定「2社」につながりました。また、アンケート調査では、急なシフト変更への対応や、予定シフトと勤怠実績の照らし合わせに苦労している事業者が多数存在するという現状を認識できました。加えて、有資格者が必要な時間帯への資格者配置、シフト作成の属人化による特定スタッフへの負担集中を改善したいという想いがくみ取れました。

今後は、アンケート結果から得られた声をシステム改修計画に反映させるとともに、今回の展示会で接点を作った事業者に対して更なるフォローアップを実施し、組合員増加を目指します。

